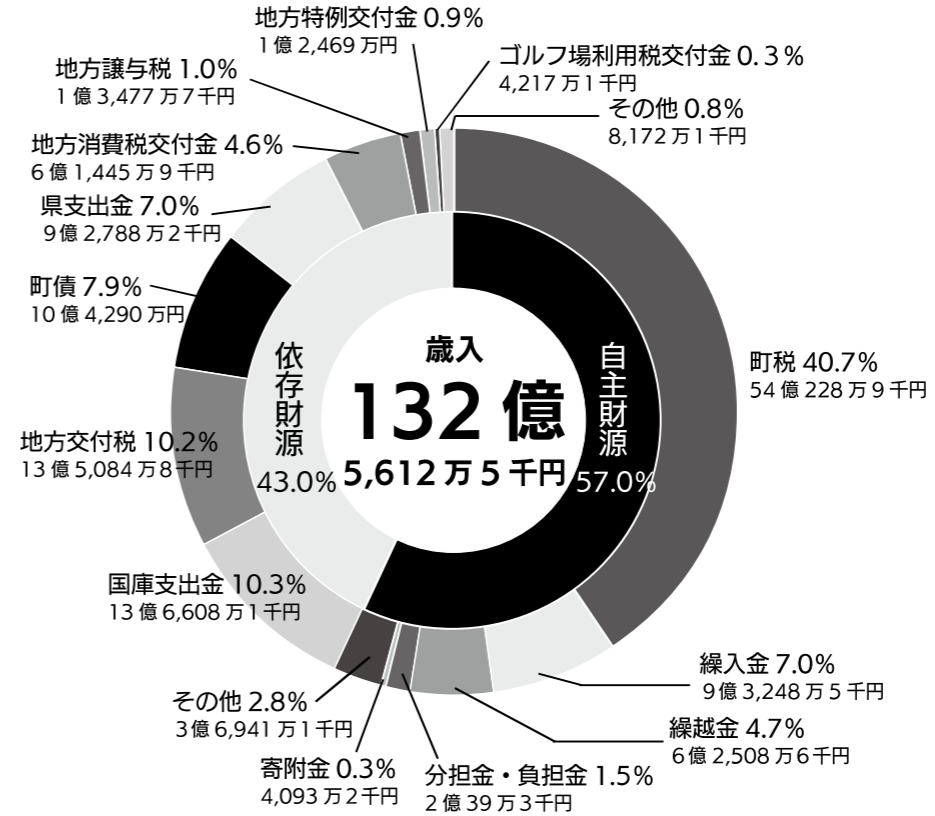


# 決算報告

令和元年度の一般会計と各特別会計（国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険、下水道事業、水道事業、簡易水道など）の決算が議会9月定例会で承認されました。皆さんに納めていただいた税金、国や県から交付される補助金などがいくら入り、どのように使われたのかをお知らせします。

問合せ／企画財政課（979-8101）

## 一般会計の歳入



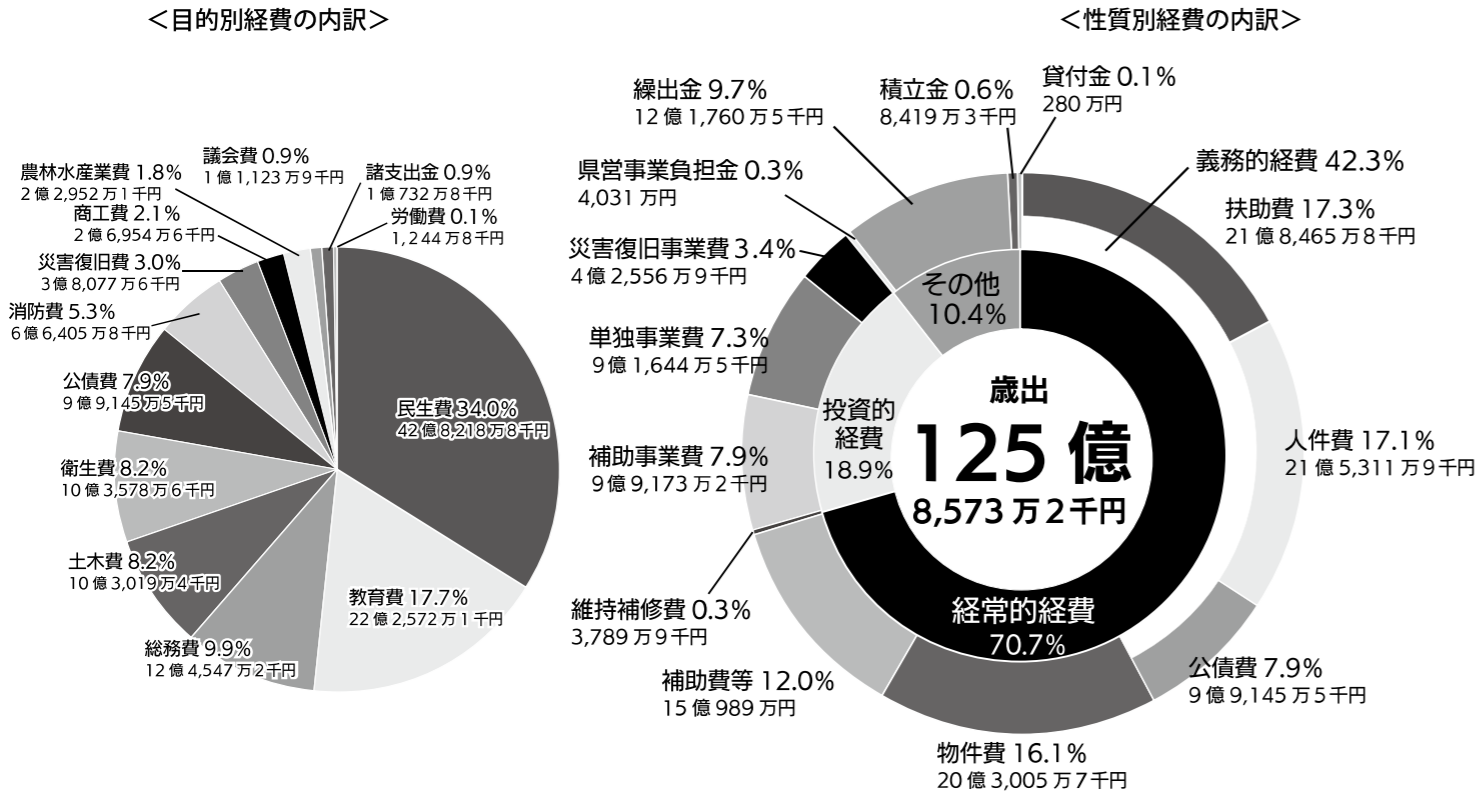
### 一般会計

▼歳入  
町税歳入が0.3%減  
皆さんから納めていただいた町税（町民税・固定資産税・都市計画税・軽自動車税・たばこ税など）が54億2,289千円で、前年度に対して0.3%の減、歳入全体の40.7%を占めています。

国からの負担金や補助金である国庫支出金は、13億6,608万1千円（前年度対比11.6%増）で、歳入の10.3%を占めています。

また、町税や使用料など町が収入するお金（自主財源）は歳入全体の57%で、地方交付税や国・県からの補助金、町債などにより収入するお金（依存財源）は、歳入全体の43%を占めています。

## 一般会計の歳出



### 歳出

▼歳出  
トップは民生費  
目的別の区分で、歳出全体に占める比率のもっとも大きいのが民生費で、42億8,218万8千円で全体の34%を占めています。

これは、心身障害者、高齢者、児童福祉に係る費用で、医療費の助成や各種福祉サービスの提供、保育園の運営などに要した費用です。次に大きいのが教育費で、22億2,572万1千円で、全体の17.7%を占め、幼稚園、小・中学校の維持管理や文化センター、かなみ知恵の和館、かなみ仏の里美術館などの社会教育施設の維持管理などに要した費用です。続いて大きいのが総務費で12億4,547万2千円で全体の9.9%を占め、職員の給与や選挙事務などに要した費用です。また、性質的な区分として、子育て、生活扶助、高齢者などに対するサービスの充実により、扶助費が依然として高い割合を占めています。

町民の皆さんが1年間に負担した税金に換算すると…

軽自動車税 2,852円	町たばこ税 6,967円	町民税 63,965円
入湯税 563円	都市計画税 5,757円	固定資産税 63,425円

令和2年3月31日現在の人口37,287人で換算

町民の皆さんが1年間に使用したお金の換算すると…

労働費 331円	議会費 2,955円	商工費 7,161円	消防費 17,643円	公債費 26,341円	総務費 33,090円	民生費 113,770円
諸支出金 2,852円	農林水産業費 6,098円	災害復旧費 10,117円	衛生費 27,519円	土木費 27,370円	教育費 59,133円	

令和2年3月31日現在の人口37,287人で換算